

令和6年度事業報告

令和6年度は「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」(以下「再資源化事業高度化法」)が公布され、これまで廃棄物処理法の下で事業を行ってきた当業界にとって、まったく新しい枠組みが登場した年となった。

また、「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」や「宅地造成及び特定盛土等規制法」の施行等、当業界を取り巻く法令が近年次々と制定されている。

このような変革期の中、当協会では、非営利型一般社団法人として定款に定める次の5つの事業で、調査研究、研修及び普及啓発並びに人材育成等に取り組んだ。

また、さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)を活用し、坂戸市森戸の放置事案改善事業を実施した。

さらに、令和6年7月に朝霞市で発生した災害廃棄物の処理について県知事から支援要請を受け、当協会会員が迅速に対応した。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

廃棄物処理法の運用、技術、業界情報を把握するとともに、マニフェストの普及促進、会員・排出事業者等からの相談等に対応した。また、産業廃棄物指導課との意見交換会や4地区懇談会の開催による行政との信頼関係の醸成、通知・会報けやき・協会だより・けやきニュース・ホームページによる適切な情報提供に努めた。

公益社団法人全国産業資源循環連合会・関東地域協議会においては、当番県として秋の関東地域協議会を開催した。

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

法令の改正、優良処理業者の育成などの課題に対応するための研修・講習の充実に努めた。重点事業として労働災害防止のためのパトロールや労働安全衛生大会を開催した。

また、令和2年度から始めたオンライン方式による事業の充実に取り組み、県・協会共催産業廃棄物講習会、実務担当者研修会などをオンライン方式で開催した。さらに、埼玉県と連携して3S運動の推進などを実施した。

人材育成については、青年部会・女性部会の研修・交流事業、新入社員の定着等を目的とした「環境産業合同入社式」を県と共同開催した。

III 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)の保全を図った。本年度は、7月に坂戸市森戸において不適正に野積みされた産業廃棄物の処理をの放置事案改善事業を実施した。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書」に基づき、令和6年7月31日の朝霞市での大雨浸水被害により発生した大量の災害廃棄物の処理について県から支援要請を受け、当協会会員が迅速に適正処理を行った。

V 地方公共団体等からの受託事業

県外産業廃棄物事前協議制度に係る受付事務並びに産業廃棄物処理業者、排出事業者、処理業新規採用者及び行政担当者を対象とした実務担当者研修会業務(6コース)を県から受託し、オンラインで実施した。

令和7年3月31日現在の協会会員数は、正会員385社(対前年度6社減)、賛助会員54社(対前年度1社減)、計439社である。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

(1) 調査研究

産業廃棄物の適正処理と再資源化などに関する法令、技術、業界情報の収集を行うとともに、県と連携した研究を進めた。

1) 県外廃棄物処理施設等視察研修

令和6年11月25日 株式会社アクトリーR&Dセンター(栃木県壬生町)

2) 太陽電池モジュールのリサイクル協議会(県設置)

第1回 令和7年2月19日

(2) マニフェスト制度の普及促進

1) 令和6年度マニフェスト頒布実績

連合会マニフェスト	210, 300部	(令和5年度実績 213,800部)
建設系マニフェスト	181, 500部	(令和5年度実績 175,600部)
合計	391, 800部	(令和5年度実績 389,400部)

(3) 相談指導・普及啓発

1) 廃棄物処理に関する処理業者・排出事業者・県民からの相談等

会員や排出事業者、県民から516件の相談があり適切に対応した。

特に会員等の処理業者からの相談には、行政との連携のもと適切な指導・助言に努めた。また、排出事業者等からの相談には、会員の処理事業者を紹介するなど適正処理の促進に努めた。

2) 会報「けやき」・協会だより・「けやき」ニュースの発行

啓発事業としては、法令の運用、事故・災害防止に関する通知等のほか、会報「けやき」、「協会だより」の隔月発行。また、迅速に情報提供するために「メール配信サービス(けやきニュース)」を実施した。

- ・けやき No. 93 令和6年7月発行 470部(令和5年度実績 500部)
- ・けやき No. 94 令和7年1月発行 470部(令和5年度実績 500部)
- ・協会だより 令和6年4月、6月、8月、10月、12月発行 各500部
- ・けやきニュース 37回配信(購読アドレス数304)

3) 許可満了期限に関する事前通知

120通(令和5年度実績 103通)

4) 事故防止通知等

令和6年12月に年末・年始における事故・災害防止の徹底について通知した。

(4) 産業廃棄物適正処理の推進

1) 労働安全衛生の推進

重点事業の労働安全衛生対策については、協会労働災害防止計画に基づき、労働安全衛生大会・研修会を開催するとともに、現況調査、ポスターの作成・配布を行い、労働安

全標語、ヒヤリハット事例を募集した。また、安全衛生パトロールを引き続き実施した。

①全国安全週間及び衛生週間に向けて、会員等にポスター・労働局通知配布

(令和6年6月、9月)

②労働安全衛生大会(参加者数70名)

開催 令和7年3月14日

講演1 埼玉労働局

講演2 二階堂久氏

事例発表 石坂産業株式会社

③会員企業に対する事故防止通知【前掲】

④安全衛生標語、ヒヤリハットの募集

・標語応募 105作品 (令和5年度実績 99作品)

・ヒヤリハット事例 18件 (令和5年度実績 18件)

⑤労働安全衛生関係表彰

・安全優良職長表彰 3名

岩瀬雄一(野崎興業株式会社)

吉村雄司(クリーンシステム株式会社)

篠川富士男(東武商事株式会社)

・安全優良事業所表彰1社

株式会社杉浦土木

⑥安全衛生パトロール 対象:会員企業1社

石坂産業株式会社

2)収集運搬業活性化の推進

・九都県市エコドライブセミナーの後援(さいたま市主催)(参加者数7名)

開催 令和7年2月26日

講演 株式会社利根川産業、エコドライブ研究所、日本自動車連盟

3)事業系廃棄物適正処理の推進

・環境保全懇談会(埼玉県環境保全連絡協議会、行政との意見交換会)

開催 令和7年2月25日

内容 埼玉県のサーキュラーエコノミーの取組について他

講師 埼玉県資源循環推進課他

4)地区懇談会(県、政令市と協会の意見交換会)

当協会独自の事業としての地区懇談会を、県産業廃棄物指導課と各環境管理事務所、各政令市の支援のもと開催し、行政担当者と会員との意見交換を通じて信頼関係の醸成を図った。

①中央地区 10月29日 さいたま共済会館 出席20名

②北部・秩父地区 11月11日 熊谷文化創造館 出席25名

③東部・越谷地区 12月11日 春日部市民文化会館 出席30名

④西部・東松山地区 12月16日 ウェスタ川越 出席40名

合計 115名(令和5年度実績112名)

5) 3S運動の推進

① 3S運動推進協議会

令和6年 6月12日 オンライン開催

令和6年12月19日 埼玉会館

令和7年 2月13日 埼玉会館

② 3S運動優秀賞知事表彰受賞 応募 延べ27社

県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」(スマイル・セイケツ・スタイル)を推進し、会員会社等における優れた取組に対しては、県知事表彰が贈呈された。

トップランナー賞		株式会社クリーンテックサーマル
最優秀賞	スマイル賞	クリーンシステム株式会社
	セイケツ賞	株式会社三栄興業
	スタイル賞	株式会社ホートー
奨励賞	スマイル賞	東明興業株式会社、 化研興業株式会社
	セイケツ賞	クリーンシステム株式会社
	スタイル賞	東明興業株式会社
特別賞	スマイル賞	化研興業株式会社
	セイケツ賞	株式会社ハチオウ川口事業所、 越谷アスコン株式会社、 土リサイクルセンター株式会社、 協栄興業株式会社
	スタイル賞	株式会社ケイ・エム環境
新人賞		株式会社 I S H I D A

6) 事業委員会

協会の各事業については、各担当事業委員会において企画、検討して事業を進めた。

① 調査研修事業委員会(石坂典子委員長)

・委員会 令和6年8月20日 (オンライン開催)

・視察研修会の実施

開催 令和6年11月25日

視察先 株式会社アクトリ-R&Dセンター(栃木県壬生町)

参加者数 29名

② 労働安全体制整備事業委員会(福田寛栄委員長)

・委員会 令和6年8月20日 (オンライン開催)

・労働安全衛生パトロールの実施

開催 令和7年1月24日

視察先 石坂産業株式会社

参加者数 5名

・労働安全衛生大会の開催

開催 令和7年3月14日

場所 埼玉県県民健康センター

参加者数 70名

③収集運搬活性化事業委員会(関根執委員長)

- ・九都県市エコドライブセミナーinさいたまの後援・参加

開催 令和7年2月26日

内容 事例発表「企業価値を下げるエコドライブ活動の失敗！～競合他社に遅れをとらないために～」、「安全運転について」

講師 株式会社利根川産業、エコドライブ研究所、日本自動車連盟

参加者数 7名

④普及指導事業委員会(関根執委員長)

- ・委員会 令和6年8月7日 (オンライン開催)

- ・地区懇談会の開催【前掲】

⑤事業系廃棄物処理推進事業委員会(山口徹委員長)

- ・環境保全懇談会(埼玉県環境保全連絡協議会、行政との意見交換会)

開催 令和7年2月25日

内容 埼玉県のサーキュラーエコノミーの取組について他

講師 埼玉県資源循環推進課他

⑥建設系廃棄物処理推進事業委員会(桑原幹夫委員長)

- ・委員会 令和6年8月23日 (オンライン開催)

- ・「建設産業廃棄物の委託処理をされる皆様へ」のリーフレット作成における実態調査

⑦災害対応事業委員会(八木三郎委員長)

- ・令和6年度災害廃棄物に係る研修会(県資源循環推進課主催)

第1回

開催 令和6年9月5日 熊谷市文化創造館

参加者 当協会員21名(全体80名)

第2回

開催 令和6年11月1日 埼玉県県民健康センター

参加者 当協会員31名(全体77名)

- ・災害廃棄物処理支援

県からの支援要請に基づき、朝霞市の災害廃棄物の処理支援を実施した。(「IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業」参照)

7)関係団体・行政との会議・交流等

①協会令和7年賀詞交歓会(令和7年1月15日)

②公益社団法人全国産業資源循環連合会関係

- ・第14回定時総会(令和6年6月14日)

- ・令和7年賀詞交歓会(令和7年1月10日)

- ・産業廃棄物と環境を考える全国大会(令和6年11月15日)

- ・全国正会員事務責任者会議

第1回:令和7年2月4日(オンライン開催)

③関東地域協議会関係

- ・第72回協議会 令和6年 4月16日(東京都開催)

- ・第74回協議会 令和6年11月08日(埼玉県開催)
 - ・事務責任者会議 令和6年10月 9日(オンライン開催)
令和7年 3月24日(オンライン開催)
令和7年 3月28日(オンライン開催)
 - ・事務担当者会議 令和7年 2月28日(神奈川県開催)
 - ・建設廃棄物対策委員会 令和6年 7月12日(オンライン開催)
令和6年10月15日(東京開催)
 - ・災害廃棄物委員会 令和6年 8月21日(東京開催)
- ④ 関係団体会議
- ・埼玉県環境保全連絡協議会【前掲】
 - ・埼玉県不正軽油撲滅対策協議会 書面開催
 - ・埼玉県フロン回収・処理推進協議会 令和6年6月10日(オンライン開催)
 - ・サーキュラーエコノミー推進分科会 令和6年7月8日(さいたま市)
 - ・感染症対策推進部会(県感染症対策課)
令和6年度第1回 令和6年9月25日(オンライン開催)
埼玉版FEMA感染症対策訓練 令和6年11月22日
(埼玉県危機管理防災センター)
令和6年度第2回 令和6年12月20日(オンライン開催)

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

(1) 県との共催の講習会

・適正処理講習会(県・協会共催)(オンライン配信)

配信期間 令和6年11月25日から1月24日

視聴回数 621回

講演1 産業廃棄物行政の最新動向について

講師 山田 浩司 氏(環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制 課 課長補佐)

講演2 廃棄物の定義と区分～廃棄物を捌き、責務を果たす適正処理とは～

講師 村岡 良介 氏(一般財団法人 日本環境衛生センター 技術審 議役)

おしらせ 3S運動の取組について 他

(2) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

オンライン講義または対面講義と会場試験を組み合わせた講習会を行った。

1) 新規／収集運搬課程 延べ5回 受講者661名

令和6年5月23日、6月14日、7月10日～7月11日(対面形式)、11月8日、
令和7年2月14日

2) 新規／特管収集運搬課程 延べ1回 受講者34名

令和6年11月7日

3) 新規・処分課程・収集運搬(同時) 延べ1回 受講者18名

令和6年5月24日

4) 特管新規・処分課程・収集運搬(同時) 延べ1回 受講者10名

令和6年11月7日

5) 更新／収集運搬課程 延べ7回 受講者988名

令和6年5月23日、6月13日、6月14日、9月6日、10月10日(対面形式)、11月8日、
令和7年2月13日(対面形式)

6) 更新／処分課程・収集運搬(同時) 延べ2回 受講者112名

令和6年5月24日、令和7年1月23日～1月24日(対面形式)

7) 特別管理産業廃棄物管理責任者 延べ5回 受講者487名

令和6年5月24日、6月13日、9月5日(対面形式)、10月11日、11月7日

合計 延べ22回 受講者2,310名(令和5年度実績 延べ37回 受講者2,442名)

(3) 廃棄物処理業に係る人材育成

1) 青年部会(鈴木拓海部会長)

法令・技術面に習熟した人材の育成、後継者の育成等を図るため、青年部会は、勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力した。

・総会 令和6年5月24日 さいたま共済会館

・勉強会「会社の成長を促す、向上型人事制度セミナー」講師:ぶぎん地域経済研究所

- ・環境産業合同入社式・名刺交換会(名刺交換会の運営)
令和6年5月20日 埼玉会館 53名参加
 - ・全体会議 毎月(会場とリモートでのハイブリッド形式)
 - ・県庁オープンデー(県産業廃棄物指導課と協力してブースを出展)
令和6年11月14日 埼玉県庁
参加者 約3,000名(テント側、パッカー車展示側合算)
産業廃棄物指導課アンケート回答数 596件
配布物 カトラリーセット(600セット)缶バッチ・ぬり絵(550個)
 - ・施設研修会
令和6年10月4日～5日 青木環境事業株式会社 参加者 11名
 - ・関東ブロック会議 随時(会場とリモートでのハイブリッド形式)
 - ・全国青年部会長会議 令和6年11月27日(愛媛県)
- 2) 女性部会(栃原綾子部会長)
- 女性の視点から業界の活性化に寄与するという趣旨から、女性部会では、勉強会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力した。
- ・総会 令和6年5月31日 書面決議
 - ・施設研修会 令和6年9月20日 日本フードエコロジーセンター
 - ・県庁オープンデー【前掲】
 - ・女性部会つどい 令和6年11月15日
講演会「共感で変わる組織 ～デザイン思考による問題解決と自主的行動の促進～」
- 3) 環境産業合同入社式(県・協会共催) 【前掲】
- 4) 環境産業合同研修会 【後掲】
- 5) 表彰事業
- ① 循環型社会形成推進功労者等表彰受賞者(以下敬称略)
- 産業廃棄物関係事業功労者等環境大臣表彰 福田寛栄(株式会社アルファサポート)
- ② 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者
- ア 功労者知事表彰
野崎鉄也(野崎興業株式会社)
- イ 優良従事者環境部長表彰
宮崎秀男(株式会社タカヤマ)
深町佳典(石井産業株式会社)
- ③ 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰受賞者
- ア 功労者表彰
野崎鉄也(野崎興業株式会社)
- イ 地方功労者表彰
新井吉樹(サン商事株式会社)
岡崎真吾(株式会社ショーモン)
- ウ 優良事業所表彰
株式会社アルファサポート
- エ 地方優良事業所表彰

ウム・ヴェルト株式会社

オ 優良従事者表彰

横山俊一(株式会社木下フレンド)

④ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰受賞者

ア 優良従業員表彰

中村直美(ウム・ヴェルト株式会社)

田口悟(ウム・ヴェルト株式会社)

高橋広幸(株式会社ウム・ヴェルトジャパン)

山崎邦彦(東武商事株式会社)

松本匡央(東武商事株式会社)

折原良久(東武商事株式会社)

久留將裕(株式会社木下フレンド)

中島夏子(株式会社木下フレンド)

千本木勝司(株式会社タカヤマ)

新井太(株式会社協和清掃運輸)

前島大輔(株式会社協和清掃運輸)

平野栄治(亀井産業株式会社)

田島広幸(亀井産業株式会社)

高桑和之(野崎興業株式会社)

中田仁之(野崎興業株式会社)

Ⅲ 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

(1) けやき積立金の運営・管理

廃棄物の山の撤去等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に活用することを目的に、「さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)運営委員会」において運営・管理されている「けやき積立金」の、令和6年度における収支は次のとおりである。

1) 令和6年度けやき積立金会計(R7.3.31日現在)

①収入の部

ア 埼玉県補填金	0円
イ 坂戸市補填金	2,000,000円
ウ 市町村分担金	0円
エ 協会からの繰入金	100,000円
オ 雑収入	60円
収入合計	2,100,060円

②支出の部

撤去対策事業費 4,988,665円

③令和6年度収支差額 -2,888,605円

④令和6年度末積立金残額 510,707,946円

2) 運営委員会の開催

なし

3) 関係業者選定委員会の開催

なし

4) 放置事案改善事業

委託業者 株式会社木下フレンド

事業実施期間 ①令和6年3月25日から3月30日まで

②令和6年7月23日

総撤去量 66,830kg (フレコン223袋)

委託料 4,988,665円

(2) 不法投棄等不適正処理廃棄物対策

実績なし

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

令和6年7月31日に朝霞市で大雨浸水被害があり、大量の災害廃棄物が発生した。9月3日に知事から協定に基づく支援要請があり、当協会の会員が迅速に対応した。

現地調査 令和6年9月9日(朝霞市クリーンセンター)

対応した会員 株式会社クマクラ、
株式会社山一商事、
オリックス資源循環株式会社、
株式会社国分商会

処理した廃棄物 畳やタイヤなど8.3トン

V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県からの受託業務として、「県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度に基づく申請書類の審査・受理」及び「産業廃棄物適正処理に関連した実務担当者向けの法制度等の研修会」を実施した。

(1) 県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度受付事務

1) 受託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2) 事前協議等受理件数

① 事前協議等受理件数	239件	(令和5年度実績	399件)
② 一括協議書受理件数	1件	(令和5年度実績	1件)
③ 変更届受付件数	0件	(令和5年度実績	1件)
④ 特例適用届出書受付件数	56件	(令和5年度実績	85件)
合計件数	296件	(令和5年度実績	486件)
⑤ 実績報告書受付件数	3,907件	(令和5年度実績	3,912件)
⑥ 処理業者紹介件数	516件		

(2) 実務担当者研修会の実施

実施期間 1)～4)及び6)は令和7年1月15日から2月25日まで、5)は令和7年2月25日

受講者 合計584名

実施形式 オンライン

1) 法律研修コース(排出事業者用)

受講者123名

講師 坂本啓多郎氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)

2) 法律研修コース(処理業者用)

受講者111名

講師 永嶋裕久氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)

3) 廃棄物処理研修コース

受講者136名

講師 藤井重雄氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)

4) 安全衛生・事業場管理研修コース

受講者48名

講師 熊江隆氏(日本産業廃棄物処理振興センター講師)

5) 新規廃棄物処理業職員フォローアップ研修コース(環境産業合同研修会)

受講者27名

講師 株式会社インソース

6) 廃棄物処理法における委託契約とマニフェスト制度コース(排出事業者・処理業者向け)

受講者166名

講師 金子亮氏(一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 常務理事)

VI その他の重要事項

「令和7年度埼玉県への施策並びに予算編成に対する要望書」を自由民主党埼玉県支部連合会に提出した(令和6年9月19日)

要望事項及び対応状況

(1) 県が造成する産業団地への産業廃棄物処理業者の立地について

対応状況 今後新規事業化する地区においては、地区計画の策定者である地元市町村と調整し、検討を進めてまいります。(企業局)

(2) 産業廃棄物処理業許可申請に添付する講習会修了証の有効期間を5年とすることについて

対応状況 有効期限については、国や講習会主催団体である公益社団法人日本産業廃棄物処理振興センターへの確認内容、有効期間を5年間へと見直した自治体への状況調査の結果を踏まえ、有効期間の見直しに向け取り組んでまいります。(環境部)

(3) 産業廃棄物処理業の環境産業へのステージアップ事業の充実について

対応状況 産業廃棄物処理業が「環境産業」へとステージアップしていくため引き続き様々な取組に努めてまいります。(環境部)